

星河金属が社名変更

「アルメック」の展望

鉄・非鉄金属リサイクル企業の星河金属は、きょう1日付で社名をアルメック(ARMEC)に変更する。1959年に星河仙吉氏が個人で創業、鉄・非鉄金属スクラップのリサイクル事業を中心に業績を伸ばし、来年には創業50周年を迎える。総合リサイクル企業を目指す同社の星河年男社長に社名変更の狙い、今後目指す方向などについて聞いた。

(脇田 和博)

社名変更の狙いは、「AはAll(全て)、RはRecycle(リサイクル)事業、50周年を迎えるに当たって、社会から求められる企業となったMaterial(原料、素材)、Eは社員全員で成長しながらはEnvironmental preservation(環境保全)、CはContribution(寄与、貢献)を指す」と考えた。新社名のARMECの頭文字を組み合わせた造り、何を表していますか。語、あらゆる資源のリサイ

星河年男社長に聞く



総合リサイクル業を標榜

人材育成、非鉄金属扱い強化

クルによって環境保全に貢献し、お客様や地域に寄与する」という理念を表している。総合リサイクル業を自

「年間総扱い量は17万ト

速に対応できる経営体質を構築するため、改革を進め

るが、OA機器など手ばら

で、鉄スクラップが90%強、ステンレスおよび非鉄金属、樹脂が7~8%。今年、豊明工場を非鉄金属部に格上げし、非鉄金属の扱い強化を進めている。

「東京製鉄・田原工場が稼働すれば販売先の選択肢が増えることにはなるが、仕入れ競争が激しくなると、プラステックなども100%リサイクルする事業の可能性もある。お客様第一主義を掲げる当社は、こ

「来春には大卒7人が入社する。環境、リサイクルに強い関心を持つ人材を採用しており、今後も採用には力を入れていく。その中から将来の中核を担う人材を育成し、新しい事業分野に取り組む人材を育てていく。昨年4月から課長・主任制度を取り入れ、新たな評価制度をスタートさせており、社員のモチベーションが高まっているのを実感している。今後は人材育成を加速し、社員の中から優秀な人材を役員に登用したり、社外取締役の任用なども考えている」

「今でも非鉄金属部に担当者を置いて金、銀、パラジウムなどを扱っているが、OA機器など手ばら